

第9回 成人発達障害支援学会

ワークショップ

成人発達障害

ショートケアプログラム

研修会

修了証が発行されます

2022年12月4日(日)

会場:岡山国際交流センター

1部:10:00~12:00

2部:13:00~15:00

平成30年度より診療報酬化された「発達障害専門プログラム」についての研修会になります。発達障害に対する理解や支援方法、発達障害専門プログラムの運用方法についての講義とプログラム体験を実施します。

1部・2部ともに参加された方には「修了証」を発行致します。また、ご承諾いただける機関は学会ホームページにおいて、研修修了機関として成人発達障害支援学会ホームページにて公開させていただきます。プログラムを実施する予定がない方も、どなたでもご参加できます。皆様のご参加をお待ちしております。

成人期の発達障害に対する障害告知

- 障害告知で期待される効果
 - 適度な自覚からの解放
 - 自己理解のための手がかり
 - 困りを相談することができる
 - 周囲からの理解、適切なサポート
- 障害告知で期待される副作用
 - 「一生治らない」との思い
 - 努力の放棄
 - 症状への受容
 - 周囲からの偏見、過度な配慮

発達障害に伴いやすい他の特徴

- 発達障害に伴いやすい他の特徴
 - 協調運動機能の障害
 - 手がかりが不明
 - 運動神経が鈍い(特に球技が苦手)
 - 視覚・空間認知の障害
 - 視覚:黒板の文字をうまく写せない等
 - 空間:物の位置関係の把握が困難等
 - 感覚過敏、鈍麻
 - 聴覚、視覚(光)、触覚
 - 睡眠障害
 - 過眠(Long Sleeper)、概日リズム障害
 - むずむず足症候群

疾患別等専門プログラム加算(平成30年4月~)

精神科ショート・ケア / 小規模なもの 200点

類似の精神症状をもつ複数の患者(40歳未満)と共通の計画を作成し、同時にショート・ケアを行った場合に、治療開始日から5月を限度として週1回に限り算定(特に必要を認めた場合は2年を限度に週1回かつ計20回まで可)。

対象患者は自閉症ス

・10人以下のグループ

・2名の従事者が実施

・『発達障害者の特性と臨床応用に関する』

第11回 上手に断る

Good/Bad

Good 100

Bad 300

「今度、飲みに行かない?」

「太郎くん、(どうやって断るか?)」

研修資料の一部

申し込み

第9回 成人発達障害支援学会岡山大会特設サイト内よりお申込みください。

(定員50名 申し込み順)

<https://med-gakkai.jp/9aasd/>

参加費はございませんが、学会参加費を頂戴いたします。会員:7,000円・非会員:8,000円

講師よりメッセージ

佐賀信之

昭和大学附属烏山病院

(発達障害専門外来・デイケア担当)

発達障害支援では、診断だけでなく、心理社会的な治療も合わせて行うことが重要です。専門プログラムは、参加者の支援の幅を広げてくれるプログラムの1つです。また、ピアサポートを実感することの出来る非常に魅力的なプログラムです。是非一緒に体験、学びましょう。ご参加お待ちしております。



1部 10:00~12:00

12:00~13:00

2部 13:00~15:00

講師:佐賀 信之(昭和大学附属烏山病院)
水野 健(昭和大学発達障害医療研究所)

- 発達障害とは
- 診断・治療

- 生活支援
- 就労支援
- 家族支援

休憩

- プログラム概要
- 運営方法・工夫
- ワークショップ(プログラム体験)
- 参加者同士の情報交換

小グループに分かれて実施